

研究員卒業レポート

「無理」を
「できる」に変えていく

客員研究員 大政 太 (四国中央市役所)



驚異のアクセス数

274235。

これは昨年12月下旬にセンターのホームページのブログにアクセスカウンターを設置してから8月22日現在までの約8ヶ月間のアクセス数である。実際の閲覧者数とは必ずしも一致はしないが、単純に考えると、一日平均1000人以上がセンターのブログを閲覧している計算となる。センターのような小さな組織のホームページとしては驚異的なアクセス数ではないかと思う。と、いうとまるで自慢のようだが、これは私自身の手柄ではない。

無理難題

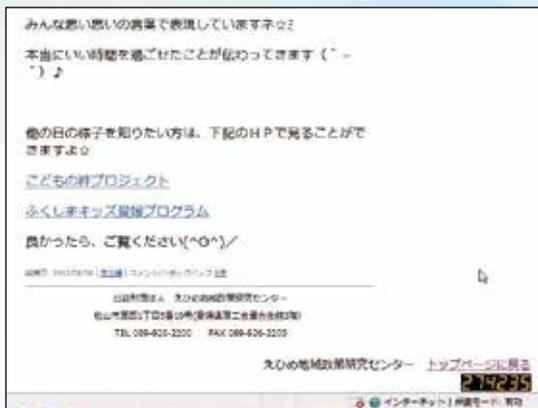
昨年度、私がホームページ担当となつての至上課題は、どうにかしてホームページのアクセス数を上げる、ということであった。どうやって多くのの人に見てもらえるホームページにするか。そもそも内容を充実させてアクセス数は上がるだろうか。アクセス数が高いホームページは商品販売をしているだとか、そこでなければ得られない情報や目的がある。語弊があるかもしれないがたとえば市役所のホームページのアクセス数が高いのは内容に関わらず申請書をダウンロードしたり生活に密接した情報へのニーズがあるからである。



センターホームページ



研究員ブログ



でもそもそも存在自体を知られていないので、面白いホームページとしてマスコミに取り上げられることでもない限り、素人目に見てもアクセス数を上げることは容易ではないと思っていた。当時のアクセス数は一日10程度であり、その大半がセンターOB等関係者ばかり。

しかしながら、「無理です」とは言えず、とりあえず半休眠状態のブログを研究員みみなで積極的に書いていくということでお茶を濁していた。

変化は自分で起すもの

「ブログのアクセス数って1日どれくらいわかる?」、ある日同僚から聞かれ、実験的にブログのアクセスカウンターを設置し

対してセンターのホームページは日常的に多数の人間が必要とするような情報はなく、掲載しているのはセンターが発行している雑誌、関係団体等の研修会や講演会のお知らせ、忘れた頃に更新するブログである。しかも内容自体を充実させ

てみた。すると一日で1000近くアクセス数があるではないか。トップページに設置してあるカウンターはやはり一日10前後しか増えていない。いったいなせだろっか、同僚に尋ねると思いもしない答えが返ってきた。

センターではさまざまな方と出会う機会に恵まれているため、年間数百人と名刺交換をする研究員もいる。彼は名刺交換をしたすべての人に、ブログの更新の度にメールでお知らせをしているというのだ。メールには更新したブログのURLを貼り付けているため、ワンクリックで直接ブログのページへアクセスできる。ゆえにトップページを経由しないためトップページのカウンターには変化がなかったのである。これは多数の地域づくりに興味のある人に手軽に見てもらえらるとも効果的な方法である。

こんな手があったのかと思う反面、出来ない理由を並べ立て、無理とあきらめてしまっていた自分を強く恥じた。はじめから受身で、こちらから積極的に打って出て行く発想を放棄していたのだ。思えばセンターでの勤務で出会った、地域づくりに活躍する方々は皆攻めの発想を持っていた。自分から動かなければ何も変わらない。基本であり、大切なことを身近な同僚に気づかされた。

ホームページも見てもらいたい

ブログはもちろんホームページも見ていただきたい。まだまだコンテンツは充実しているとは言いが、舞たうんのバックナンバーは創刊号から全号を掲載しており、愛媛

の地域づくりの変遷を紐解くことができる。「歩キ目テス&足ラテス」等の連載記事を改めて読み返すのも新しい発見があり、オススメである。

せっかくブログを通じて情報発信の糸口を掴んだのであるのだから、ホームページ本体にも目を向けてもらえようように内容の充実や仕掛け作りをしたい、そう思ったところで残念ながら任期が終了。次の研究員の皆さんが発展させてくれることを期待しバトンを渡すこととなった。

最後に

関わった人への感謝とこれからの抱負を述べたいと思うが、字数の関係もあるので、結びの言葉は地域づくりの大先輩shin-11さんから本歌取りさせていただいた句で締め括りたいと思う。

二十代 最後の二年は センターで
勉強勉強また勉強

出来ないよ 思う時点で すでに負け
やってみなけりやわからない

出会う人 すべてが師匠 忘れずに
感謝の気持ち抱き続け

僕たちは 愛媛に蒔かれた 夢見る種
いつか芽を出し地域を元気に

大政大笑売啖呵より